ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

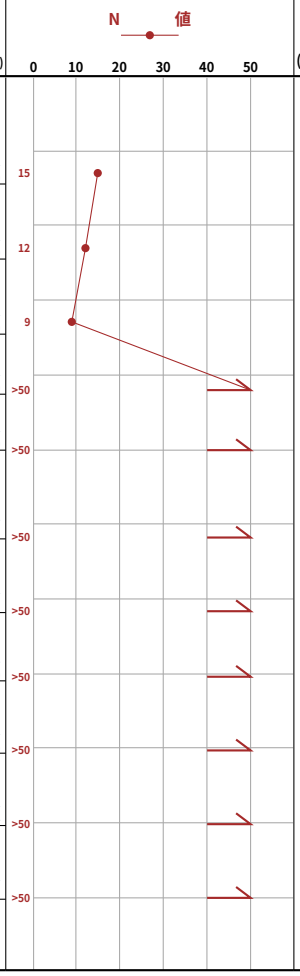
シートNO.

ボーリング名	No.47-3		調査位置							北　緯	36 ° 44 ' 37.0000 "
発注機関	栃木県日光土木事務所				調査期間	2009-02-26 ～ 2009-03-03				東　経	139 ° 31 ' 04.0000 "
調査業者名			主任技師		現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者	
孔口標高	970.33 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 38.00 °	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具
総掘進長	11.02 m								エンジン		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1 2 3	966.73	3.60	3.60		崖錐堆積物 (Tl)	暗褐～暗灰	中ぐらい		シルト質砂礫 深度1.70mまで暗褐色呈し、シルト分多く不均質 礫は径φ2～50mm程度を主体とし所々コア長100mm程度の粗石混入やや崩れ易い		
4 5 6 7 8 9 10 11	959.31	7.42	11.02		粗石混じり砂礫 (GS)	暗灰	非常に密な		火山砕屑物 径φ2～50mm程度の角礫主体 マトリックスは細粒土～粗砂 コア長100～200mm程度の粗石を混入 (最大コア長250mm) 礫は、多孔質な安山岩礫主体 孔壁は若干の崩れあり		02/28 03/01 03/02

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	6	7	15／30	15
1.45					
2.15	2	5	5	12／30	12
2.45					
3.15	2	3	4	9／30	9
3.45					
4.15	50			50／10	>50
4.25					
5.00	50／0			50／0	>50
5.00					
6.15	50／5			50／5	>50
6.20					
7.15	50／3			50／3	>50
7.18					
8.00	50			50／10	>50
8.10					
9.00	50／6			50／6	>50
9.06					
10.00	50／4			50／4	>50
10.04					
11.00	50／2			50／2	>50
11.02					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日